

広島県県営住宅広告等運用業務公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和6年7月31日 10時から12時まで
2	場 所	県庁北館5階収容委員会室
3	出席委員	委員長 土木建築局住宅課長 委員 総務局広報課デジタル・ディレクター 土木建築局都市計画課参事 土木建築局住宅課参事 土木建築局住宅課住宅管理担当監
4	議 題	提案書の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署	土木建築局住宅課
6	開催方法	参集
7	議事内容	<p>1 審査方法</p> <p>県営住宅広告等運用業務委託先候補とする事業者を選定するため、公募型プロポーザルを実施し、提出された提案書を基にプレゼンテーションを行い、その内容を選定委員会において審査し、得点の最も上位の提案者を最優秀提案事業者として選定した。</p> <p>2 審査結果</p> <p>(1) 審査対象者</p> <p>A社：株式会社 中国新聞アド B社：株式会社 広島朝日広告社</p> <p>(2) 審査対象者の評価値</p> <p>審査対象者の評価値については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。</p> <p>(3) 最優秀提案者及び選定理由</p> <p>ア 最優秀提案者</p> <p>A社：株式会社 中国新聞アド</p> <p>イ 各委員の評価・選定理由</p> <p>【A社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ターゲットに合わせてアプローチ手法をよく掘り下げている。特にデータ収集や広告デザインの各層で、若年者向けという目的にしっかり焦点を定め設計されていた。 ・ ダウンロード数を意識したコンバージョンがしっかり出来ている。 ・ 県営住宅募集の特徴として10日間と短い点があり、この期間だけで効果を出すのは難しく、この欠点をうまく埋めるような提案になっていた。 ・ 募集時期に応じた強弱、及び薄い広報から募集期への成果への

		<p>接続をよく意識して日程化していた。</p> <ul style="list-style-type: none">・ クリエイティブに関しては、キャッチコピー等をもう少し調整して考えていく必要はある。 <p>【B社】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 募集期間での集中的広告はしっかり設計できていると感じた。・ 募集期間中の集中的広告と各募集期間の隙間での広報との連携が、十分詰められていなかった。・ ランディングページを作って頂くのは有難く、県のHPとの相互リンクの設定によっては非常に効果的なネットワークを作れるように感じた。・ ランディングページの作成提案については、ダウンロード数だけを考えると、端的に成果が期待しやすいようにも思える。・ ランディングページ的设计が、最終のコンバージョンをやや追いかけていない、または目的性にメリハリを付けた構成になり得ていないように思え、次年度への継続上もやや不安を感じた。・ DSP 広告の機能にやや頼り過ぎ、運用面の目的性の追求が不足気味に思え、成果の確証を持ち辛かった。・ DSP 広告の機能で得られる未知の成果が県施策にもたらされる点は、試行として非常に興味深い。
--	--	--